

議事概要

1. 日 時 令和7年12月11日（木）15時00分～16時30分

2. 場 所 札幌第1合同庁舎 2階講堂

（札幌市北区北8条西2丁目）

3. 出席者

[委員長]

岸 邦宏 北海道大学大学院 教授

[委 員]

有村 幹治 室蘭工業大学大学院 教授

加藤 真奈美 北海道防災教育アドバイザー

加藤 由紀子 前北海商科大学 教授

久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭

島本 和明 日本医療大学 総長

4. 議 事

計画段階評価について

・北海道縦貫自動車道 中川～天塩 第3回目

【委員からの主な意見】

- ・これまでもインターチェンジについては街中に近いところに配置するべきと申し上げており、街中の近くにインターチェンジを配置できるルートが最適。
- ・沿線自治体からも1日でも早く高規格道路を開通させることが重要と伺っている。
- ・医療関係で道北に行くとホワイトアウト・地吹雪で危険という認識であり、稚内から名寄までも距離が長いため早期に全体を繋げることが重要。
- ・沿岸部に近いエリアを通過するため風が強まった時に吹雪・地吹雪・暴風雪になりやすいので、防雪対策を重視することが必要。
- ・道北エリアには歴史があり、いろいろな観光資源に近づくためにはアクセス道路が必要であるため、高規格道路の整備は重要。
- ・当区間と音中道路の整備後は大きく移動時間が短縮されるため、2024問題としても移動時間短縮効果が労働時間短縮にどのくらい影響するのか調査してみてはどうか。
- ・アンケートについて、その施設をビジネスのために利用した人、観光客など、利用目的の属性を分けて集計してみてはどうか。
- ・アンケートについて、優先すべき項目について1つにチェックを付けてもらうではなく、順位付けするようにしてみてはどうか。

【委員長による総括】

- ・対応方針（案）については【案①】別線市街地アクセスルートで了承。

以 上